



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月10日

上場会社名 イーレックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9517 URL <https://www.erec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本名 均
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 竹股 邦治 TEL 03 (3243) 1167
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	64,762	37.6	7,210	154.4	6,799	166.7	3,628	130.5
2019年3月期第3四半期	47,061	42.4	2,834	△13.7	2,549	△17.6	1,574	△17.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 6,299百万円 (90.5%) 2019年3月期第3四半期 3,306百万円 (15.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	71.59	71.12
2019年3月期第3四半期	31.12	30.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	97,275	31,602	24.7	472.64
2019年3月期	75,024	25,824	25.9	384.03

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 23,985百万円 2019年3月期 19,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,042	44.4	7,720	64.2	7,189	67.3	3,863	39.7	76.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	50,922,000株	2019年3月期	50,811,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	173,602株	2019年3月期	207,022株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	50,687,127株	2019年3月期3Q	50,590,140株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（補足説明資料について）

同日に当社ホームページ（<https://www.erec.co.jp/ir/>）に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

我が国を取り巻くエネルギー情勢は、地球温暖化対策に関する国際的な枠組み「パリ協定」が2016年に発効され、環境意識の高まりがより一層加速しております。特に再生可能エネルギーへのシフトは一部の企業のみならず、多くの企業にとって重要課題と位置づけられており、国内エネルギー情勢もこの影響を受けております。

当社グループは、2019年12月に創業20周年を迎えました。昨年5月に発表した中期経営計画の基本方針において「低炭素化する社会ニーズに応えるため、日本を代表する再生可能エネルギーのリーディングカンパニーとなる」を掲げ、発電事業、燃料事業そして小売事業の各事業分野において成長のための諸施策を実施しております。

電力小売事業については、販売拡大はあったものの、競争の進展による他業者への切り替えや足元の気温が平年に比べ高めに推移したため、電力需要は計画に比較し、伸びが鈍化しました。低圧分野では、パートナーとのキャンペーン活動や新規提携等により、販売電力量は187百万kWh(前年対比+12.9%)販売件数は143,000件(前年対比+15,000件)と増加いたしました。計画には到達しませんでした。高圧分野では、当社グループの販売子会社エバーグリーン・マーケティングが販売を行っており、直接販売の強化、使用量の大きいお客様への営業強化等の施策により販売電力量は442百万kWh(前年対比+7.2%)とほぼ計画どおりに推移しました。また、CO2フリープランの需要も少しずつ拡大しております。

発電事業については、土佐発電所及び佐伯発電所は中間点検を行いました。土佐発電所は一部計画外の停止をいたしました。豊前バイオマス発電所、大船渡バイオマス発電所は試運転を実施し、2020年1月から商業運転を開始いたしました。また、沖縄県うるまバイオマス発電所は、2021年の商業運転に向け順調に建設を進めております。

昨年10月にはカンボジア王国において、同国の電力不足に対処するため、水力発電事業への出資参画を行う事を決定しました。同国の低炭素化社会実現に貢献してまいります。

燃料事業については、PKS(パーム椰子殻)を始めとするバイオマス燃料の安定、かつ低廉な料調達を目的し、従来の商社からの調達に加え、自社調達を拡充しております。

トレーディング事業については、高気温の影響により取引所の価格が低位に推移したことにあわせ、同市場からの電力調達の割合を高め電力調達原価の低減を図りました。

また、継続的な販管費の抑制も図っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は64,762百万円(前年同期比+37.6%)、売上原価は53,141百万円(同+32.3%)売上総利益は11,620百万円(同+68.5%)販売費及び一般管理費は4,410百万円(同+8.5%)営業利益は7,210百万円(同+154.4%)、経常利益は6,799百万円(同+166.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,628百万円(同+130.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は29,266百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,066百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金、売掛金の増加によるものです。固定資産は68,008百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,185百万円増加いたしました。これは主に発電所建設に伴い、豊前ニューエナジー合同会社及び沖縄うるまニューエナジー株式会社の建設仮勘定が増加したことによるものです。

この結果、総資産は97,275百万円となり、前連結会計年度末に比べ22,250百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は27,236百万円となり前連結会計年度末に比べ9,948百万円増加いたしました。これは主に豊前ニューエナジー合同会社の一年内返済予定の長期借入金及び未払金の増加によるものです。固定負債は38,436百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,523百万円増加いたしました。これは主に豊前ニューエナジー合同会社及び沖縄うるまニューエナジー株式会社の長期借入金の増加によるものです。

この結果、負債合計は65,672百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,472百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は31,602百万円(前連結会計年度末比+5,777百万円)となりました。これは主に配当金の支払いが609百万円あったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益3,628百万円や為替予約及び金利スワップによる繰延ヘッジ損益が1,669百万円増加したこと、及び子会社の増資等に伴う非支配株主持分の増加1,225百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は24.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、2019年5月13日に公表した業績予想は、同資料の発表日時点において当社グループが入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,281	12,830
売掛金	8,051	11,523
原材料及び貯蔵品	351	1,201
未収入金	3,230	3,083
その他	284	627
流動資産合計	22,200	29,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,286	3,151
機械装置及び運搬具(純額)	14,246	13,336
土地	747	747
建設仮勘定	25,442	40,139
その他(純額)	84	116
有形固定資産合計	43,806	57,492
無形固定資産		
その他	1,857	1,909
無形固定資産合計	1,857	1,909
投資その他の資産		
投資有価証券	2,123	2,178
関係会社株式	1,301	1,489
繰延税金資産	429	339
敷金及び保証金	536	597
その他	2,868	4,154
貸倒引当金	△99	△152
投資その他の資産合計	7,158	8,606
固定資産合計	52,823	68,008
繰延資産		
株式交付費	1	0
繰延資産合計	1	0
資産合計	75,024	97,275

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,717	7,399
短期借入金	5,900	5,400
1年内返済予定の長期借入金	1,856	5,598
未払金	2,696	6,579
未払法人税等	871	1,509
賞与引当金	86	55
その他	158	693
流動負債合計	17,287	27,236
固定負債		
長期借入金	27,303	34,081
退職給付に係る負債	47	65
資産除去債務	2,785	2,805
繰延税金負債	28	357
役員報酬BIP信託引当金	93	93
デリバティブ債務	1,317	731
その他	338	301
固定負債合計	31,913	38,436
負債合計	49,200	65,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,168	5,181
資本剰余金	4,639	4,602
利益剰余金	10,709	13,728
自己株式	△185	△155
株主資本合計	20,332	23,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	△58
繰延ヘッジ損益	△992	677
為替換算調整勘定	14	11
その他の包括利益累計額合計	△898	629
非支配株主持分	6,390	7,616
純資産合計	25,824	31,602
負債純資産合計	75,024	97,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	47,061	64,762
売上原価	40,163	53,141
売上総利益	6,898	11,620
販売費及び一般管理費	4,063	4,410
営業利益	2,834	7,210
営業外収益		
受取利息	19	21
受取配当金	8	14
投資有価証券売却益	—	19
その他	16	19
営業外収益合計	44	75
営業外費用		
支払利息	177	248
支払手数料	65	61
持分法による投資損失	59	157
その他	27	17
営業外費用合計	329	486
経常利益	2,549	6,799
税金等調整前四半期純利益	2,549	6,799
法人税、住民税及び事業税	904	2,051
法人税等調整額	△66	△16
法人税等合計	838	2,035
四半期純利益	1,710	4,764
非支配株主に帰属する四半期純利益	136	1,135
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,574	3,628

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,710	4,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	△138
繰延ヘッジ損益	1,609	1,676
為替換算調整勘定	22	2
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△6
四半期包括利益	3,306	6,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,207	5,157
非支配株主に係る四半期包括利益	98	1,142

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。